

第 10 回 地域づくり部会(書面開催)会議概要

<p>書面協議完 結 日</p>	<p>令和 4 年 2 月 28 日 (月)</p>
<p>意見回答 委員</p>	<p>神田委員、五十嵐委員、阿部委員、鶴巻委員、横山委員、中嶋委員 皆川(英)委員、清水委員、佐久間委員、皆川(靖)委員、本間委員</p>
<p>内 容</p>	<p>令和 3 年度自治協議会提案事業 事業評価書(案)について</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業評価については、実績(数字等)が出るので事務局で作成していただきたい。(阿部) ・今後は防災の内容によって、中学生を対象とした訓練なども必要と思う。年代によって防災の内容を変えて企画する。(神田) ・個人的にも楽しく参加させていただき、参加者の皆さんの感想からも実施して良かったと思えるイベントでした。(皆川(英)) ・事業の公益性・実効性を鑑みた時、自治会単位(自主防災会含む)に徹底した周知と訓練指導が、急務と考えます。(清水) ・事業目的・概要欄 1 行目「～理解不足が、」1 の後「各地域の」を入れる。事業の評価欄 2 行目「～防災など」の後に「の」を入れる(佐久間) <p>特に大きな修正はなかったため、別紙修正案を 3 月本会議に提出することとした。</p> <p>その他自由意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進委員協議会が自治協議会に在籍しているので、地域の皆さまへ発信の機会をいただいていることに感謝しています。地域性もありますが、防災について興味を持っていただけるように地域団体との協力が必要と感じました。若い世代への啓発を今後も続けて行けたらよい。(鶴巻) ・避難所設営訓練もあった方がよい。(神田) ・次年度も委員、参加者とも楽しめるイベントになることを期待しています。(皆川(英)) <p style="text-align: right;">以上</p>

第 10 回 福祉教育部会(書面開催)会議概要

書面協議 完 結 日	令和 4 年 2 月 28 日 (月)
意見回答 委 員	清水(博)委員、神田(恭)委員、有田委員、樺山委員、斉藤委員、 藤沢委員、藤原委員、本間(啓)委員、横山(喜)委員、遠藤委員
内 容	<p>令和 3 年度自治協議会提案事業事業評価書(案)について</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私自身この企画を通して「あったか言葉」とはなんだろうと、いつも何気なくかけたり、なかなかかけられずにいる言葉について改めて考えることができました。幅広い世代の方から応募していただき、言葉や人とのつながりの大切さ、あたたかさに触れることができる企画となったのではないかと思います。入賞された作品の活用方法について、シールにして区役所の封筒や作業所の製品に貼り付ける、というのがありました。シールを見た方には目につきやすく、「あったか言葉」の浸透につながっていくきっかけとなると思います。一方で、学校や地域の施設等での活用方法を思いつくことができれば、より地域の中で「あったか言葉」が広がることにもつながると感じたので、私自身もう少し何か活用方法が思いつくことができればよかったですと思いました。(藤原) ・実施実績で、自分もパネル展を見に行っただが、結構足を止めてみている人がいたので、その辺も評価に加えてはどうか。(本間) ・「福祉作業所」を「福祉施設」に変えた方が良い。(斉藤) ・コロナでなんとなくギスギスしているこの時期に「あったか言葉」の募集はほっこりした言葉が多数寄せられて良かったと思う。ちょっとした声掛けも相手を思った「ことば」かけになれば良いですね。封筒の開封口にシールを付けたのは良かった。(樺山) ・実績・評価ともに具体的でわかりやすくまとめられており、この事業を実施して良かったと改めて感じることができました。(藤沢) <p>いただいた意見を踏まえ、事業評価書の内容を修正し 3 月の自治協議会開催案内に同封し再度意見を求めた。修正案について特に意見がなかったため、別紙修正案を 3 月本会議に提出することとした。</p> <p>その他自由意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治協議会福祉教育部会として、貧困家庭への支援ができないでしょうか。(斉藤)

第8回 自然文化部会(書面開催)会議概要

書面協議 完結日	令和4年2月28日(月)
意見回答 委員	伊藤部会長、渡邊副部会長、前田委員、山賀委員、本田委員、小日向委員、諏訪委員、平松委員、寺山委員
内 容	<p>令和3年度自治協議会提案事業事業評価書(案)について</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島潟のPR動画は、とても良くできたと思います。わずかでしたが豊栄高校の生徒さんや先生とも交流できて良かったです。何よりも制作にあたった生徒さんが福島潟を好きになってくれたことはいはうれしいです。小中学校でも、総合学習等の時間でDVDを活用し、感想がもらえればうれしいです。(本田) ・①【公開方法】…区内の小・中学校をはじめとした公共施設等に配布した。→区内の小・中・高・大学をはじめ、市立図書館や区内公共施設等に配布した。 「配布先」に図書館や教育機関を入れることで在住する多くの若い世代に北区の魅力を発信していきたい。 ②【応募作品の活用】…4年度カレンダーを作成し配布した→4年度カレンダーを、PR動画配布先等に配布した。 ①と同様。北区を「好き」は「知る」ことから始まるので、発信と継続が大切。(伊藤) <p>いただいた意見を踏まえ、事業評価書の内容を修正し3月の自治協議会開催案内に同封し再度意見を求めた。修正案について特に意見がなかったため、別紙修正案を3月本会議に提出することとした。</p> <p>その他自由意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナが収束したら、見学会研修会等の企画を願いたい。(平松) ・フォトコンテスト、私はインスタグラムできませんが、たくさん投稿があり良かったです。委員も知らない場所が多く、隠れた魅力を発見できました。(本田) ・区だより活用について：日報掲載もされたが、区だよりで、PR動画制作について、製作者取材(コメント)お披露目イベントのコメントでよいので、紹介記事掲載できないか。今年度で2作完成したので、福島潟の1年間の魅力を発信する動画をアピールしたい。高校との連携協力もアピールしたい。フォトコンテストについて、どんな事業実施するか、各委員の活発な意見交換ができて大変よかったですと思います。コロナ禍で大変な面もあるけれど、来年度も、情報共有と意見交換、収集に努めた部会運営にしていきたいです。(伊藤)